

犬用の犬糸状虫症予防・ノミ及びマダニ駆除・消化管内線虫駆除

動物用医薬品

2021年10月改訂

貯法	室温保存
----	------

要指示医薬品 指定医薬品

パノラミス®錠 S  
 パノラミス®錠 M  
 パノラミス®錠 L  
 パノラミス®錠 LL  
 パノラミス®錠 XL

承認指令 書番号	S	29動薬第 3599 号
	M	29動薬第 3600 号
	L	29動薬第 3601 号
	LL	29動薬第 3602 号
	XL	29動薬第 3603 号
販売開始	2014年1月	

有効期間：36ヵ月 使用の期限：被包に記載

少量のフードと一緒に与えてください。

最大の効果を得るため、少量のフードを与えてから投与するか、少量のフードにまぜて与えてください。

【本質の説明】

パノラミス®錠は有効成分スピノサドとミルベマイシンオキシムを配合した犬のノミ及びマダニの駆除、犬糸状虫症の予防、犬回虫・犬鉤虫・犬鞭虫の駆除を目的とする経口剤です。スピノサドはイーライリリー社により発見・開発された放線菌 *Saccharopolyspora spinosa* の発酵により得られる化合物で、マクロライド系に分類され、節足動物のニコチン性アセチルコリン受容体に作用し、神経を興奮・麻痺させることでノミ及びマダニを駆除します。スピノサドは経口投与後全身の脂肪組織に移行し、約1ヵ月間効果が持続します。ミルベマイシンオキシムは *Streptomyces hygroscopicus* subsp. *aureolacrimosus* の発酵により得られる化合物で、マクロライド系に分類され、線虫や節足動物のグルタミン酸開口性クロールイオンチャンネルに作用し、神経細胞や筋肉細胞の膜を過分極させることにより、犬糸状虫幼虫殺滅効果や犬回虫、犬鉤虫並びに犬鞭虫に対する駆除効果を有します。スピノサド及びミルベマイシンのいずれも哺乳類の受容体への親和性は低く、犬への安全性は確認されています。

【成分及び分量】

1錠中にそれぞれ次の成分を含有

品名	スピノサド	ミルベマイシンオキシム
パノラミス錠 S	140mg	2.3mg
パノラミス錠 M	270mg	4.5mg
パノラミス錠 L	560mg	9.3mg
パノラミス錠 LL	810mg	13.5mg
パノラミス錠 XL	1620mg	27.0mg

【効能又は効果】

犬：犬糸状虫症の予防、ノミ及びマダニの駆除、犬回虫・犬鉤虫及び犬鞭虫の駆除

【用法及び用量】

体重 1kg あたりスピノサド 30mg 及びミルベマイシンオキシム 0.5mg を基準量とし、本剤を 1錠経口投与(投与前後に少量の食餌を与えること)又は食餌に混ぜて投与する。なお、犬糸状虫症の予防には、毎月1回、1ヵ月間隔で蚊の発生から発生終息1ヵ月後までの間、投与する。体重別には次の投与量による。また、体重 54.0kg 以上の犬には、体重 1kg あたりスピノサド 30mg 及びミルベマイシンオキシム 0.5mg を基準量とし、錠剤を組み合わせ投与すること。

犬の体重範囲(kg)	用量
2.3kg 以上 4.5kg 未満	パノラミス錠 S
4.5kg 以上 9.0kg 未満	パノラミス錠 M
9.0kg 以上 18.0kg 未満	パノラミス錠 L
18.0kg 以上 27.0kg 未満	パノラミス錠 LL
27.0kg 以上 54.0kg 未満	パノラミス錠 XL
54.0kg 以上	適切な錠剤を組み合わせ投与

【使用上の注意】

(基本的事項)

1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- 本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
- 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- 本剤は、蚊、ノミ又はマダニが発生する時期に投与すること。若しくは犬回虫・犬鉤虫又は犬鞭虫に感染した犬に投与すること。

(使用者に対する注意)

- 誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 小児の手の届かないところに保管すること。
- 本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けて保管すること。
- 誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。

2. 使用に際して気を付けること

(犬に関する注意)

- 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- 本剤の有効成分には嘔吐の副作用が知られている。投与の1時間以内に嘔吐した場合は、本剤の効果が担保できない可能性があるため、獣医師の判断により再投与又は他剤の使用を検討すること。
- 本剤は食餌と共に投与することで最大の効果が得られるため、投与の前後に少量の食餌を与えること。
- 複数飼育の場合は、再感染を最小限にするため、全頭に投与することが望ましい。
- 本剤を反復投与する場合は月1回を超えないようにすること。

(取扱いに関する注意)

- 本剤のマダニに対する駆除効果は1ヵ月間持続しないことがあるため、投与後1ヵ月以内にマダニの再寄生が認められた場合は、獣医師の判断により他剤の使用を検討すること。

(専門的事項)

①対象動物の使用制限

- 本剤は14週齢未満の子犬、又は体重 2.3kg 未満の犬には投与しないこと。

### ②重要な基本的注意

- 本剤の投与前には健康状態について確認し、使用の可否を決めること。
- 繁殖用の雌犬については対象動物安全性試験で安全性が確認されたものの、交配、妊娠、授乳中など、大きな生理変動が想定される場合には、動物の一般状態その他の所見に留意して慎重に投与すること。
- 本剤の投与前に必ず血液検査を行い、ミクロフィラリアがいないことを確認した後、投薬を行うこと。
- 犬糸状虫感染犬に本剤を投与する場合は、成虫及びミクロフィラリアを駆除するなど適切な処置を行い、投薬を行うこと。
- ミルベマイシンオキシムの試験において、コリー犬及びその系統の犬種は他の犬種に比べ、安全域が狭いことが示されていることから、これらの犬種に対しては、用法・用量を厳密に守ること。
- てんかんの既往症のある犬については、動物の一般状態その他の所見に留意して慎重に投与の是非を判断し、また、投与後はてんかん様発作の兆候を観察すること。素因及び他の因子も含めて因果関係は不明であるが、スピノサド製剤（品名：コンフォティス錠）投薬後にてんかん様発作が認められた報告がある。

### ③相互作用

- 毛包虫症などの治療を目的に、高用量のイベルメクチン（犬用以外の製剤を含む）を投与した犬に、スピノサド製剤（品名：コンフォティス錠）を併用した事例で、重度の副作用の報告がある。

### ④副作用

- 本剤の投与により嘔吐、下痢、食欲不振又は元気消失がみられることがある。
- 本剤に含まれるフレーバー成分又はその他の成分により、個体の体質によっては、まれに一過性の過敏反応（蕁麻疹、顔面の腫脹等）が起こることがある。
- ミルベマイシンオキシムを犬糸状虫感染犬に投与した場合、急性犬糸状虫症（大静脈症候群）、歩様異常、元気消失、嘔吐、呼吸速迫又は食欲不振の症状が現れることがある。

### ⑤その他の注意

- 本剤の繁殖用雄犬に対する安全性評価は実施されていない。
- 本剤は、犬に寄生したノミ及びマダニを駆除する動物用医薬品であり、これらの寄生虫が媒介する疾病の伝播を阻止できるかについての検討は行っていない。

### 【包装】

錠剤サイズ パノラミス錠 S、M、L、LL、XL、それぞれ6錠入りブリスターシート包装


### 【製品情報お問い合わせ先】

エランコジャパン株式会社 製品お問い合わせ窓口  
〒107-0052 東京都港区赤坂四丁目15番1号  
フリーダイヤル：[月～金] 0120-162-419 (9:00～12:00、13:00～17:00) 祝祭日及び弊社休業日を除く

製造販売業者（輸入発売元）

### Elanco エランコジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂四丁目15番1号

パノラミス®、Elanco 及び ：エランコ又はその関連会社の商標です。

©2021 Elanco or its affiliates

PA403066X

CA4332

CA4333

CA4334

CA4335

CA4336

B4

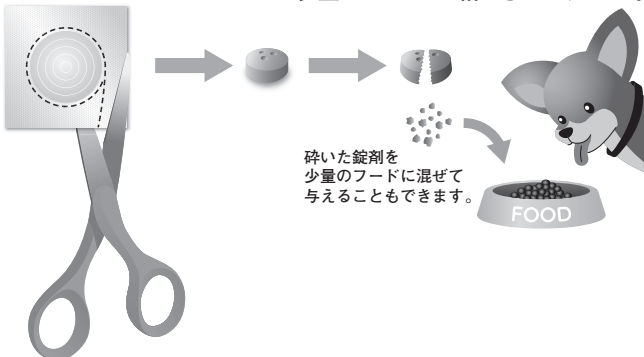
獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。

### 【投与の方法】

投与は以下の方法を参考に行ってください。

円のふちに沿って  
ハサミでお切りください。

最大の効果を得るため、  
少量のフードと一緒に与えてください。



砕いた錠剤を  
少量のフードに混ぜて  
与えることもできます。

錠剤のシートはお子様の誤食を防ぐために、  
開けにくい構造になっています。

### 【貯蔵方法】

室温保存、気密容器